

新型コロナウイルスワクチンの小児及び 追加接種（3回目接種）の体制について

令和4年2月28日

岡山県新型コロナウイルス
ワクチン接種体制確保協議会

I 小児へのワクチン接種体制について

小児への新型コロナワクチン接種体制の構築について

県と市町村で構成するワクチン接種体制確保協議会では、1月下旬より、下記の小児科専門医等からご助言をいただきながら、小児へのワクチン接種体制の準備を行ってきたところであるが、2月21日、予防接種法施行令等が改正され、5歳以上11歳以下への接種が予防接種法上の予防接種である特例臨時接種に位置づけられたことから、本県においても、希望する者が接種を受けることができるよう体制を整備することとする。

《これまでの主な検討事項》

- ・ 県内における小児向け接種医療機関をどのように設置するか。
- ・ 基礎疾患を有する小児などが優先的に接種を受けられる措置を行うべきか。
- ・ 小児や保護者へどのように情報提供を行うか。小児専用の相談窓口を設けるべきか。
- ・ 新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状について、どのような専門的な医療体制を整備するか。

<専門家>

岡山大学大学院	小児医科学教授	塚原 宏一 先生
川崎医療福祉大学	特任教授	尾内 一信 先生
岡山県医師会	理事	國富 泰二 先生
川崎医科大学	小児科教授	中野 貴司 先生
岡山大学	疫学・衛生学分野	頼藤 貴志 先生

<専門医療機関>

岡山県小児科医会	会長	横山 裕司 先生
岡山赤十字病院	小児科	井上 勝 先生
岡山医療センター	小児科	清水 順也 先生
倉敷中央病院	小児科	脇 研自 先生
津山中央病院	小児科	梶 俊策 先生

小児へのワクチン接種に係る国の方針について

<使用するワクチン>

ファイザー社の5～11歳用のワクチンを使用。通常、3週間の間隔をあけて、合計2回接種

<接種の対象>

5歳から11歳の方

特に、慢性呼吸器疾患、先天性心疾患など重症化リスクの高い基礎疾患（※）を有する小児に接種を推奨

（※）日本小児科学会の公表資料を参照

→ 1回目接種時に11歳である者については、2回目の接種までに12歳になった場合であっても、2回目もファイザー社の5～11歳用のワクチンを使用する。

<予防接種法上の取扱い>

・ 予防接種法第8条（予防接種の勧奨）は適用

「市町村又は都道府県は、～対象者が16歳未満の者～であるときは、その保護者に対し、～臨時の予防接種を受けることを勧奨するものとする。」

・ 予防接種法第9条（**予防接種を受ける努力義務**）**12歳未満の者については努力義務の対象としない。**

「対象者が16歳未満の者～であるときは、その保護者は、その者に～臨時の予防接種～を受けさせるため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」

<学校での小児接種>

小児へのワクチン接種を**学校などを会場として集団接種を行う**ことは、接種に対する個人の意向が反映されずに同調圧力を生む可能性があり、接種後の体調不良へのきめ細かな対応が難しいといった制約があることから、**現時点では推奨しない**。ただし、個別接種の体制確保が困難である際には、ワクチンの接種主体である市町村の判断において、適切な対策を講じる場合に限り実施することができる。

<本県の取扱い> 小児への接種開始スケジュール（案）

- 接種券発送、予約開始、接種開始を全市町村で統一する。
- 接種券発送を3月7日（月）の週に行い、接種券入手次第、予約可能とする。
- 県の「新型コロナワクチン小児専門相談窓口」を3月7日（月）から稼働する。
- 市町村は、3月7日（月）の週までに接種医療機関に小児用ワクチンを配送する。
- 接種は、3月14日（月）の週を目途に開始する。

○本県の接種対象者数は115,386人。（R3.1.1住民基本台帳年齢階級別人口からの推計値）

○3月14日の週までに、国から45,300回分のワクチンが供給される予定。

○臨時の予防接種の実施期間は、令和4年9月30日まで。

<本県の取扱い> 小児への接種券等の発送（案）

- 接種券は、**対象年齢の児童すべてに同時発送**する。
- **接種券及び予診票の様式**は、12歳以上の者と同じ様式の接種券一体型予診票とするが、**紙の色をオレンジ色**として、区別しやすいようにする。
- 発送物は、接種券一体型予診票、接種済証、厚生労働省作成の小児用チラシ、ファイザー社作成の小児用ワクチン説明書、県の小児専門相談窓口等の案内文などとする。

※市町村は、次の点について保護者等に周知を図る。

- ・ 小児のワクチン接種には、保護者の同意と立会が必要なこと
- ・ 接種当日は封筒の中身一式のほか、**本人確認書類や母子健康手帳の持参が必要**となること
- ・ ワクチンについて疑問や不安があるときはかかりつけ医や専門相談窓口などに相談すること

○**年齢は2022（令和4）年4月2日時点で判定**する。（ただし、岡山市は除く）

具体的には、**5歳から今年度の小学5年生**（誕生日が2010年4月2日～2017年3月●日（●=市町村の発送日））**までの方に接種券を送付**し、**今年度の6年生で誕生日が到来していない方**（誕生日が2010年3月●日（●=市町村の発送日）～2010年4月1日）には、**誕生日到来後に12歳以上の接種券を送付**する。これから5歳の誕生日が到来する方（誕生日が2017年3月●日（●=市町村の発送日）以降の方）には、**誕生日到来後に小児の接種券を送付**。

<本県の取扱い> 小児への接種を行う医療機関（案）

- 個別接種を担っていただく地域の医療機関を手上げ方式で募集し、**現時点で218機関**（2月25日時点、非公表を含む）**を確保**。
- 従前どおり、居住市町村にかかわらず、県内どの接種医療機関でも接種を可能とする。
- **集団接種会場については、接種開始後の予約状況を踏まえて設置を検討**。
- 予約は、個別接種を実施する医療機関の指定する方法で行う。
 - ①医療機関での予約 ②市町村コールセンターでの予約 ③県共通予約システムでの予約

○県及び市町村は、**接種医療機関リスト（公表用）をホームページ等で周知**する。

○成人へのワクチン接種も同時に行う医療機関は、間違い接種を防ぐため、**厳重な注意が必要**。

また、接種後の副反応などへの対応は、接種医自身がかかりつけ医という認識を持ち、適切に対応し、副反応報告も含めた事後対応を行うことが必要であるため、こうした点を市町村が接種医療機関に徹底する。

○接種医療機関は、少なくとも1日10人単位で接種できるよう週あたりの接種日数を設定する。

<本県の取扱い> 県共通予約システムでの小児の予約方法（案）

接種会場を検索

空き状況

予約可能な接種会場のみを対象とします。

※予約状況は15分おきに更新されます。

ワクチン種別

ファイザー（小児用）

接種会場名

部分検索が可能です

名称とカナを検索します。

住所

部分検索が可能です

一部分だけの入力でも構いません。

日付指定

~ まで

日付からワクチン枠設定のある接種会場を検索します。

予約希望時間

時以降 時まで

検索結果の表示順

検索

検索結果には接種枠に空きがある接種会場が表示されます。（最大表示件数200件）

接種枠の空き状況は15分おきに更新されるため、選択した接種会場の接種枠が既に埋まっている場合がございます。予めご了承ください。

- 接種会場を検索する際に、「ワクチン種別」で「**ファイザー(小児用)**」を選択すると、小児の接種を行う医療機関を探すことが可能。
- 小児の対象者が、誤って成人用の会場を予約しようとするとうエラーとなり、予約できない。逆も同じ。

<本県の取扱い> 副反応に係る相談窓口と医療提供体制（案）

- 県は保護者からの副反応に係る相談等に対応するため、**小児専用相談窓口を設置**する。
- 県は小児の副反応事例に対応するための**専門的な医療提供体制を整備**する。

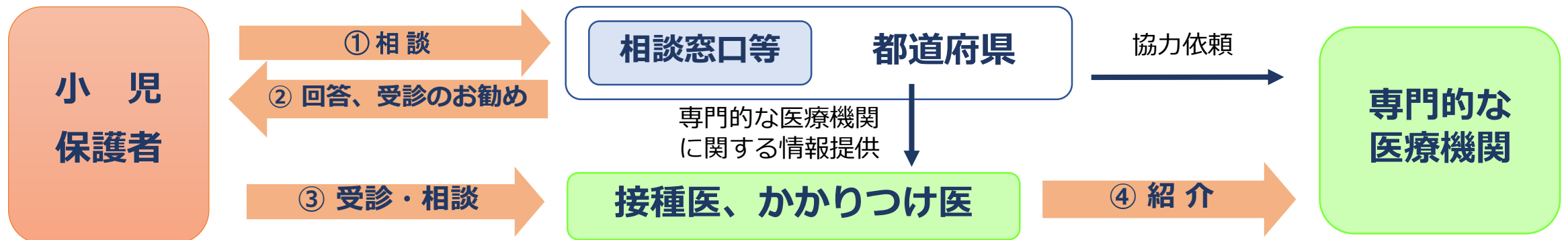
○県の小児専門相談窓口は下記のとおり。**3月7日（月）9：00より受付開始。**

- ・副反応が気になるが、症状や発生頻度について聞きたい
- ・接種後3日経っても腫れているが医療機関を受診した方がいいか など

医学的なご相談については…

岡山県新型コロナワクチン 小児専門相談窓口
電話番号：0120-245-061（フリーダイヤル）
受付時間：24時間（土日祝日を含む）

○小児へのワクチン接種に係る専門的な医療提供体制は下記のとおり。



小児のワクチン接種後副反応調査について（案）

<目 的>

岡山県内小児における新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社ワクチン）接種後の副反応の頻度を評価し、その結果を県民へ情報提供する。

<対 象>

岡山県内の接種医療機関で新型コロナウイルスワクチンを接種した小児

※接種回数が多いと見込まれる接種医療機関を数か所選定し、ワクチン接種時に保護者へチラシを配布して協力を依頼する。回答していただいた方には調査結果をフィードバックする。

<質問項目>

- ・ **接種後の副反応**
- ・ **接種した決め手**

<解析方法>

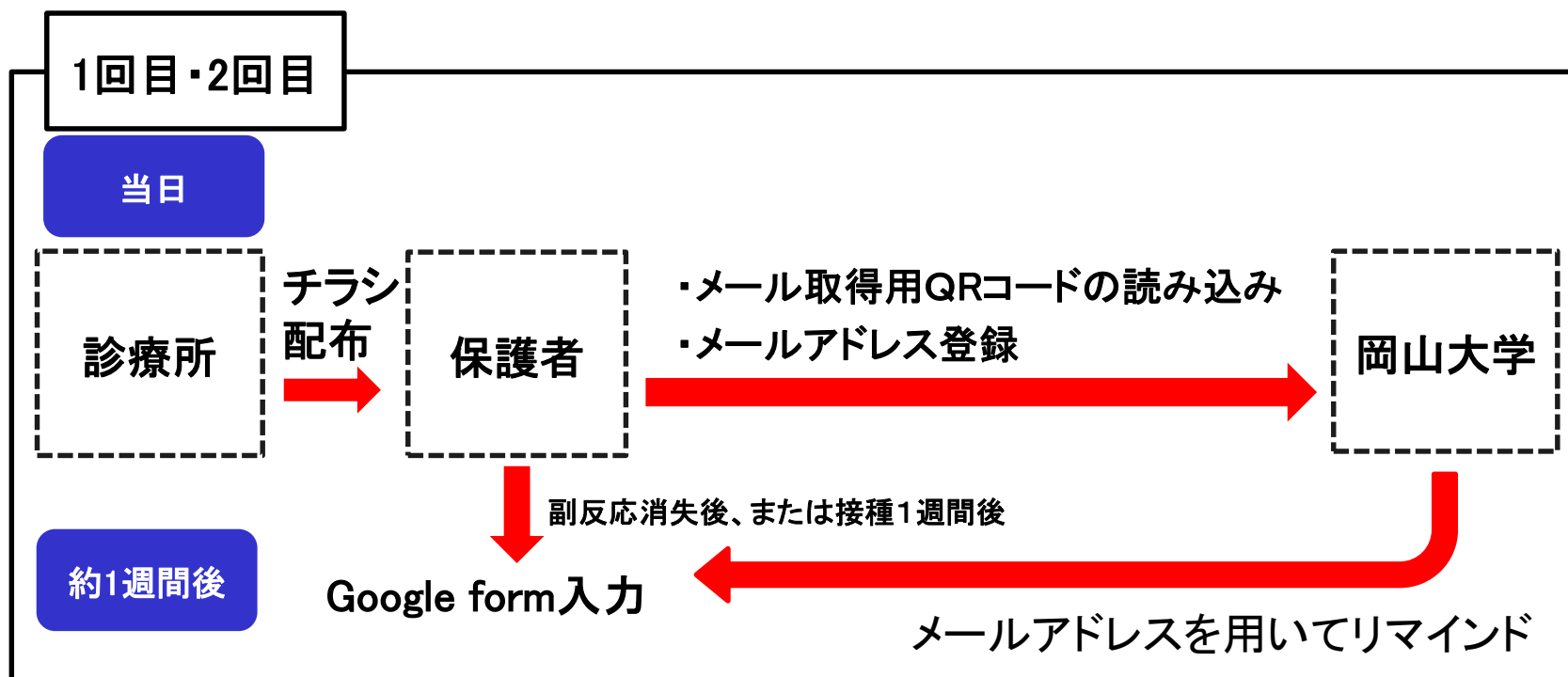
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野にて集計、分析等を実施

<結果の公表>

- ・ 調査期間での接種医療機関の接種者人数を用い回収率を計算
- ・ 結果は個人の特定ができない形で集計
- ・ Google formでの回答を基に、副反応などの頻度を解析
- ・ **調査結果を岡山県ホームページに掲載するとともに、プレス発表を実施**

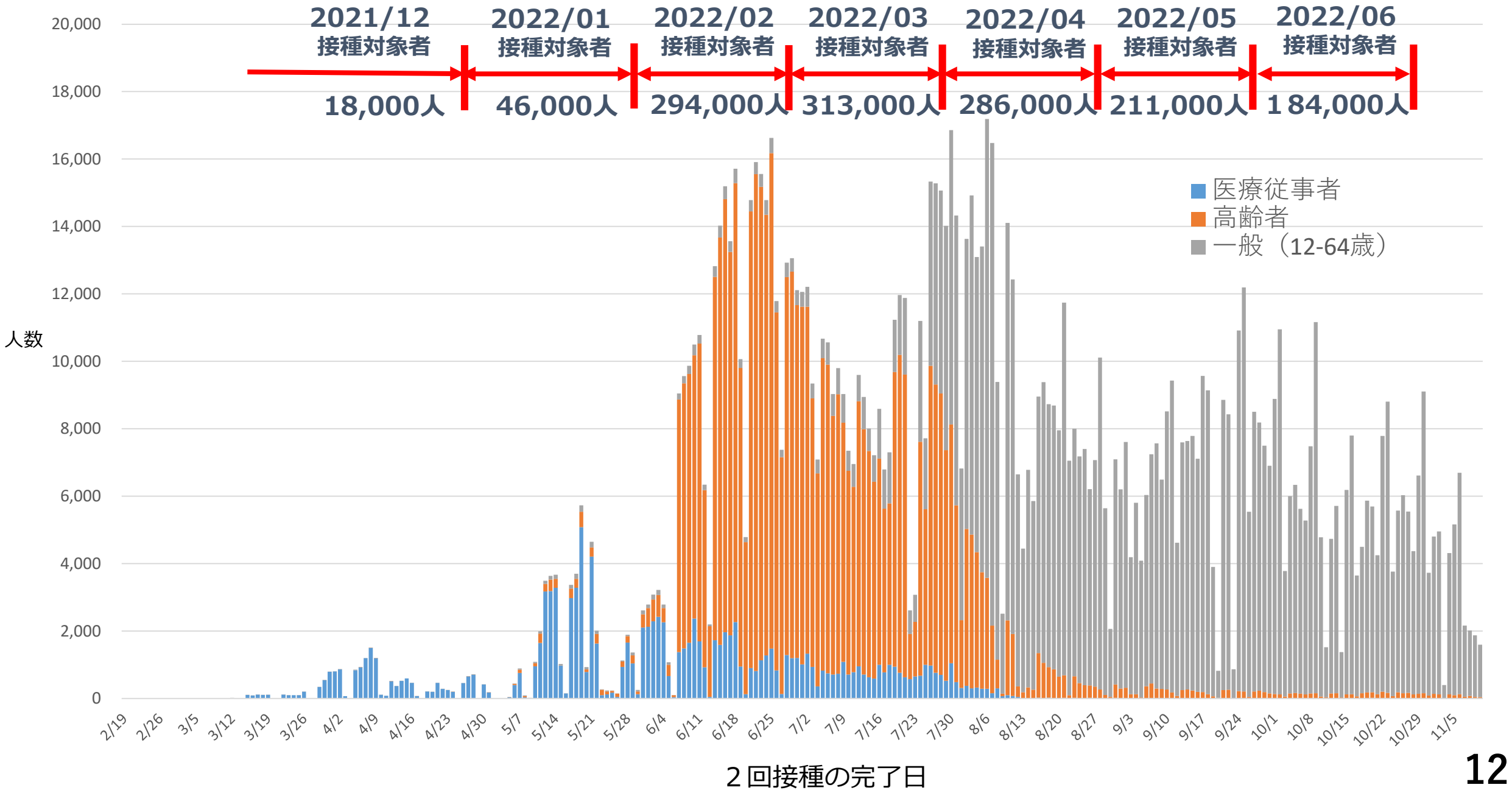
小児ワクチン接種後副反応調査

- 岡山県内小児科における副反応を評価し県民へ正確な情報を提供する
- 岡山県内の数か所の接種医療機関で実施（約2,000人を母数に）
- Google formで作成した調査票を利用
- 副反応出現の有無に関わらず回答。副反応消失後すぐ、もしくは接種1週間後に調査票へ回答。



Ⅱ 追加接種(3回目接種)の状況等について

<追加接種の月別対象者数>



追加接種の年月ごとの対象者数(2回接種後8か月経過の人数)

(単位：人)

接種タイミング (2回目接種時期)	R3.11	R3.12 (R3.4)	R4.1 (R3.5)	R4.2 (R3.6)	R4.3 (R3.7)	R4.4 (R3.8)	R4.5 (R3.9)	R4.6 (R3.10)
医療従事者等		18,255	41,271	41,577	25,308	4,704	149	64
高齢者等		11	3,307	245,073	219,491	38,872	5,835	3,944
一般		176	1,948	8,221	68,545	242,857	205,263	180,506
合計		18,442	46,526	294,871	313,344	286,433	211,247	184,514
累計		18,442	64,968	359,839	673,183	959,616	1,170,863	1,355,377

ワクチンの配送スケジュール

前倒し



(単位：人分)

配送時期	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6
ファイザー	58,500	204,750		203,580	88,920 +60,840	+132,210	※赤字は国からの2/15追加分	
モデルナ		2,895	278,550	160,650	157,800	94,800 +55,050	+55,050	
合計	58,500	207,645	278,550	364,230	307,560	282,060	55,050	
累計 (月末時点)	58,500	266,145	544,695	908,925	1,216,485	1,498,545	1,553,595	1,553,595

(モデルナ占有率)

(51.7%)

(48.6%)

(49.3%)

(50.0%)

(51.8%)

13

追加接種の状況について

■ 接種率（2022年2月24日現在）

区分	人口	接種者数	接種率
全対象者（18歳以上）	1,600,924人	420,717人	26.3%
うち高齢者（65歳以上）	568,499人	303,462人	53.4%

全国第3位

《本県の接種率が高い理由（全国第3位）》

- ・全市町村で統一して接種券の早期送付を進めていること
- ・初回接種から引き続き、個別・集団とも接種体制が充実していること

■ 1日当たりの接種回数（直近1週間平均 2/18～2/24）

総接種回数	9,680回/日	<構成比>
うちファイザー	5,596回/日	57.8%
うちモデルナ	4,084回/日	42.2%

市町村の接種券送付スケジュールについて

令和3年7月に
2回目接種完了した方

2月15日までに
すべての市町村において
接種券を送付済み

※大部分の高齢者の手元に接種券
が届けられるということ

令和3年8月に
2回目接種完了した方

岡山市、倉敷市など
多くは2月末までに
発送予定

その他市町村も
3月4日までに
順次発送予定

※現役世代の手元にも接種券が届き
始まるということ

本県における追加接種スピードが速い理由

■ 全市町村で統一して接種券の早期送付を進めていること。

→あらかじめ8ヶ月経過する前月末に一斉送付することとしていたが、国の前倒し方針を受けてさらに前月中旬までに前倒し送付するようにしている。

■ 初回接種から引き続き、個別・集団とも接種体制が充実していること。

→初回接種を促進するため、県営接種会場2か所を1月末まで接種を継続し、そのまま追加接種会場として拡充し、活用している。

■ 高齢者施設に対する追加接種の説明会を12月末に開催し、早期接種を呼び掛けたこと。

→このため、65歳以上の高齢者の接種率は、53.4%（2月24日時点）に達している。

→接種券なしでの接種も呼びかけていたが、接種券の書き直しを敬遠して接種券が届くのを待っている施設があることで接種が遅延している面もある。

高齢者施設の入所者・職員への追加接種について

<県内の高齢者施設等のワクチン追加接種状況>

2022年2月17日時点 厚労省による調査結果

施設種別		施設数	2月下旬までの接種 終了 予定施設数	未定・3月以降接種 終了 予定施設数	2月末までに追加接種 終了予定の施設の割合	
					本県	全国
医師 あり 配置	1. 介護老人福祉施設	138	104	34	75%	80%
	2. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	70	56	14	80%	82%
	3. 介護老人保健施設	70	56	14	80%	81%
	4. 介護医療院	15	13	2	87%	80%
	小計	293	229	64	78%	81%
医師 なし 配置	5. 特定施設入居者生活介護	69	51	18	74%	72%
	6. 地域密着型特定施設入居者生活介護	7	6	1	86%	77%
	7. 認知症対応型共同生活介護	287	233	54	81%	75%
	8. 養護老人ホーム	24	21	3	88%	84%
	9. 軽費老人ホーム	39	35	4	90%	76%
	10. 有料老人ホーム	115	83	32	72%	68%
	11. サービス付き高齢者向け住宅	83	59	24	71%	67%
	小計	624	488	136	78%	72%
合計		917	717	200	78%	74%

全国平均を下回っている

<2月末までに終了しない理由>

- 「2回目接種が比較的遅く、6か月経過していない入所者等がいるため」 →約3割強
- 「接種券が揃って（届いて）から接種する意向だったため」 →約2割強

ワクチンの3回目接種に係る総理指示<抜粋>（令和4年2月7日）

感染力の強いオミクロン株への対応にあたって、ワクチンの3回目接種は、発症予防・重症化予防の要となるもの。

2月からは、一般高齢者の前倒し接種が本格化しており、**国・自治体・企業挙げて、2月のできるだけ早期に1日100万回までペースアップすることを目指して、取組みを強化してまいりたい。**

厚生労働大臣、堀内ワクチン接種推進担当大臣を中心に、各大臣、連携の下、全力で当たっていただきたい。

（略）

今月半ばには、職域での接種も開始する。経済産業大臣、国土交通大臣、農林水産大臣などにおかれては、**所管業界の企業に対し、積極的に活用いただくよう働きかけていただきたい。**

自治体に配布したワクチンなども活用して、地域におけるエッセンシャルワーカーに対する接種も進める必要がある。

特に、保育所や学校での感染が拡大している実態を踏まえ、文部科学大臣、厚生労働大臣におかれては、都道府県や市町村に対して、**教職員、保育士などに対する積極的な接種促進**を働きかけていただきたい。また、国家公安委員長、総務大臣におかれては、**警察官、消防職員への接種**を進めていただくようお願いする。

（略）

 **今後、警察官や教職員等による予約・接種が本格化する見込み。**

新型コロナワクチンの交互相種後の副反応調査について

【調査の意義】

モデルナの追加接種は1・2回目の半量とされているが、その副反応についての知見・データが少ない。交互相種の効果や安全性については県民の関心も高く、必要な情報であること。

「①②ファイザー → ③ファイザー」

医療従事者を対象に実施済み

「①②ファイザー → ③モデルナ」

今回、医療・介護従事者を対象に実施し、前者と比較。

【調査対象】

- ・追加接種にモデルナ社ワクチンを使用している集団
- ・一定の母数が確保できる集団（全数カウントできること、偏りのない回答が期待できること）
- ・リマインドが可能な集団（対象者に回答を促し、回答率を確保できる環境であること）

【調査依頼を行う団体（予定）】

介護保険関連団体協議会、障害福祉施設等協議会の所属団体・会員（医療・介護従事者等）

ワクチン交互相種後副反応調査
ご協力をお願い



この調査は、新型コロナワクチン交互相種の副反応の頻度を評価し、県民の方へ情報提供を行う目的で岡山県が実施するものです。今回の調査は、1、2回目にファイザー社ワクチンを接種して、3回目にモデルナ社ワクチンを接種された方を対象に行います。

副反応の出現の有無に関わらずご回答ください。副反応消失後すぐ、もしくは接種1週間後に下記のQRコード（又はURL）を読み込みGoogle Formで回答してください。結果は個人の特定ができない形で集計します。正確な情報提供のためには、回収率が重要になってきます。ご協力よろしくお願いいたします。



<https://bit.ly/3r53UeS>

副反応出現の有無に関わらず
1人でも多くご回答いただくことが
重要です！
よろしくお願いいたします



副反応調査集計・解析担当

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野
精藤 貴志(教授)
松本 尚美(助教)
岡山大学病院 総合内科・総合診療科
萩谷 英大(准教授)

職域・大学での追加接種の予定について

◆ 初回接種における実績

○実施時期	令和3年6月下旬～11月初旬
○実施した企業・大学数	51団体
○接種人数	<1回目> 108,583人 <2回目> 107,719人

◆ 追加接種の予定（2月25日時点）

○申請済みの企業・大学等	32団体
○実施時期	3月前半までに16団体が接種を開始する見込み

◆ 職域接種の要件、財政支援

- ・ 初回接種を実施した企業、大学等であること。使用するワクチンは武田/モデルナ社製。
- ・ 1会場当たり**500人以上の接種を行う見込み**があること。（1000人から緩和）
- ・ **一定の要件を満たした中小企業、大学に財政支援あり。**
※「接種回数×1,500円」を上限に実費補助（初回接種時の1,000円から増額）

追加接種を促進するための対策について

- 追加接種について、種類よりもスピードを重視するよう県民に訴える。
※第6波による死者は、1月27日以降で64人（R4.2.27時点）に上り、このうち65歳以上の高齢者が62人となっていることから、速やかに追加接種を受けていただく必要がある。
- 交接種についての理解を促進するため、国、県のリーフレットを活用して交接種の方が抗体価が上がることなどについて、丁寧に説明する。
- 岡山大学の協力を得て実施している**交接種の副反応調査の結果を公表**する。
- **職域や大学の追加接種**に対し、**広報資材の提供や財政措置等を通じて支援**する。
- **新たな県営接種会場を設置して、現役世代の追加接種を促進**する。
＜実施時期＞ **令和4年3月16日（水）～4月10日（日） 14:30～18:30**
＜実施場所＞ **岡山県南部健康づくりセンター（岡山市北区平田）**
＜実施方法＞ **予約枠 240人/日**。武田/モデルナ社製ワクチンを使用。3回目接種のみ受付。